

# 中国における多民族・多文化共生の発展動向

郭 潔敏

## 1. 中国における少数民族の概況

ご周知のように、中国は漢族と五十五の少数民族から構成される「統一された多民族国家」です。具体的にいえば、この「多民族」のうち、漢族は全人口の91.59%を占め、少数民族人口は1億643万人で、中国全人口の8.41%しか占めていません<sup>1)</sup>。もっとも、少数民族の分布地域（民族自治地方）は非常に広く、その居住面積は約616万平方キロで、中国の総面積の64%以上にも及んでいます。

地理的に見れば、つぎのように漢民族が大陸の中部から沿海東部にかけて居住し、少数民族人口の多くは西南・西北・東北・北部という辺境地域に集中して居住しております。



中華人民共和国成立以来今日に至るまで、中国政府は一貫して多民族・多文化社会を目指し、少数民族を保護する政策を取ってきました。例えば、憲法では、各民族の人口の多少にかかわらず、政治的地位においてはすべて平等であり、各民族間の差別及び抑圧を禁止し、各民族間の団結を分裂させるような行為も禁止することが定められています。教育では、「二言語併用教育政策」をとり、少数民族に対して、民族語と漢語の二言語教育、或いは二言語を用いた教育を実施しています。また、各少数民族は、民族の言語・文字を使用する自由を有し、自らの風

俗習慣を維持し改革する自由が保障されています。経済では、中央政府は毎年、財政的補助金や救済金などを出し、1950年から80年まで、民族自治地域の全民所有制の企業（国有企業）に対する国家の投資総額はあわせて920億元に達しました。2005年には、西部開発インフラ重点工事へ3100多億元も投資しています<sup>2)</sup>。また、民族平等という政策を推し進めるために、これまで全国に多くの民族学院や民族幹部学校を設立し、民族専門の人材と幹部を養成しています。

1984年、中国第六回全国人民代表大会では、「中华人民共和国民族区域自治法」が成立しました。これに基づいて、1995年まで全国で119の民族自治区域で自治条例が成立しました。少数民族自治州や自治県などを管轄する多民族の省においても、民族区域自治法を執行し実施する規定を公布しています。2001年、「中华人民共和国民族区域自治法」は部分的に修正したり、補助したりしました。例えば、大入試の場合、少数民族であれば、成績が下回っても採用できるとか、同じ成績の場合、少数民族を優先的に採用するなどの規定がつくられました。

現在、中国は少数民族の七割以上を占める44の民族地域で、すでに区域自治が実施されています。各民族自治地域の人民代表大会においては、区域自治を実施する民族の公民（国民）が主任または副主任、自治区の主席、自治州の州長、自治県の県長を担当しています。「民族区域自治法」における、民族自治区域の主な自治権限は以下のとおりです。

- ① 当地民族の政治、経済と文化の特徴に基づき、自治条例と単行条例を制定する権利を有する。
- ② 国家機関によって公布された決議、決定、命令や指示などが自治区域の実態に適応しない場合は、自治区域が国家の許可を得て、これらの決議や命令などを変更して施行する、もしくは決議などの施行を停止させる権利を有する。
- ③ 自治区域の実態に基づき、国家の憲法と法律に違反しないことを原則として、特別な政策と柔軟な措置をとる権利を有する。
- ④ 国家の全面的な指導に基づき、自主的に自治区域の建設事業を計画し管理する権利を有する。
- ⑤ 自治区域の財政を管理する自主的権利を有する。
- ⑥ 自治区域の教育、科学、文化、衛生、体育などの事業を管理する自主的権利を有する。
- ⑦ 国家の軍事制度と自治地方の必要により、国家の許可に基づき、自治区域の社会治安を守る公安部隊を組織する権利を有する。
- ⑧ 職務を行う際、自治区域で通用している言葉や文字、或いはその他の言葉や文字を使用する権利を有する。

#### 人口センサスにおける少数民族人口の推移

	1982年	1990年	2000年
漢族	9億4,088万人	10億4,248万人	11億5,940万人
少数民族	6,729万人	9,120万人	1億644万
対総人口比	6.70%	8.04%	8.41%

\* 第5回人口センサス（2000年）により。

また、すでに中国の国策としての「一人っ子」政策を少数民族に対して実施しないので、近年少数民族の人口が大いに増加し、全人口に占める比率も増える一方です。

## 2. 少数民族の移動：「周辺」から「中心」へ

長い間、中国人は戸籍で当地に縛り付けられ、他所へ旅行や短期の出稼ぎに行くことはできませんでしたが、移動の自由がありませんでした。近年、市場経済の発展により、中国の戸籍制度が緩められ、「農業戸籍」、「都市戸籍」といった戸籍の区分を廃止して「住民戸籍」に一元化する「実験」を始めた都市が見られます。そうすると、人口の移動が活発になり、内陸地域から沿海地域へと流れる傾向が明らかです。その中には、少数民族の「民工」（出稼ぎ労働者）も少なくありません。

関係部門の統計によると、北京や上海や天津などでは、「边疆」（国境線あたり）からきた少数民族がますますおおくなっています。例えば、北京では、少数民族は1950年代の六民族、9万人ぐらいから、1990年代の55民族、42万人へ発展してきました。現在、毎日百万人の流動人口の中で、10万人以上は全国各地からの少数民族です。

少数民族が大勢都市へ移動するのは、結局貧困によるものです。「特殊貧困地域」に指定されているチベットを除く全国で、国が「貧困対策重点県」に指定した県は592県の中、45.1%は少数民族自治区や少数民族の多い省にあります。中国政府はずっと「貧困県」に貧困支援資金を出し、例えば2005年、内モンゴル自治区、広西チワン族自治区、チベット自治区、寧夏回族自治区、新疆ウイグル自治区および、少数民族の住民が多い貴州省、雲南省、青海省に対し48.4億元の貧困支援資金を振り分け、前年より約10%増えており、全国への貧困支援資金のうちの40.2%を占めていますが、その生活水準はやはり低く、彼らは大都市を憧れているようです。

もう一方では、少数民族の流動が活発になった事で大都市では、異なる民族の雑居も増え、しばしば隣の人の話す言葉が理解出来ないということがあります。少数民族は、長い歴史の発展過程において、独自の文化・伝統を持ち、言語・宗教の面でも多種多様です。市場経済は多文化を交流させ、共通のルールを作り出す力を持って、一つは民族の移動に伴う文化の接触と融和であり、もう一つはマイノリティの民族や文化を同化する恐れもある。それゆえ、政府は少数民族学校あるいは普通の学校で「チベットクラス」や「新疆クラス」を作るように、多文化を守る姿勢を示しています。少数民族の教育というと、1950年に中国の大学、中小学校の在学者数における少数民族在学者数の比率はそれぞれの0.9%、0.4%、0.2%でした。1990年に入ると、各レベル各種類の普通学校における在籍少数民族の学生人数は1,576,92万人に達し、新中国成立初期の16.92倍となり、少数民族の専任教師は74,98万で、建国初期の12,55倍となりました<sup>3)</sup>。

しかし、少数民族は都市に流れて、医療、社会保障などの優遇を受けることはできなく、「二等国民」と言われて問題となってきました。1993年8月29日、國務院は「都市民族仕事条例」を發布し、内容は政治、経済、文化などの面に触れ、あわせて30項目もあります。例えば、都市の人民政府は合法経営の少数民族に有利な条件を提供し、少数民族の流動人口に教育や管理を強め、その合法權益を保護すると規定した。これが、新中国成立以来、初めての都市におけ

る少数民族管理の行政規則です。その後、吉林省や四川省や上海市や武漢市などは、相次いで地方の「都市民族仕事条例」を作って、少数民族の管理に力を入れ始めました。

ちなみに、もう一つの現象は、都市における外国人の流動です。グローバル化によって多くの外国人が中国へ入ってきました。断片的な資料ですが、すでに175ヶ国から大勢の外国人留学生が訪れ、さらに中国を訪れる外国人観光客は年間何百万人もいます。これは別の話題です。

### 3. 上海における少数民族およびその問題・政策

上海は、人口1600万以上で、面積0.62万平方キロの大都市です。人気が高い都市ですから、依然として外部からの流入を制限しているにもかかわらず、「周辺」からきた少数民族は絶えず増えてきました。2000年中国第5回人口センサスにより、上海は53の少数民族を持ち、その人口は10.36万人に達し、1990年より66.6%増えたのです。現在、少数民族は上海市総人口の0.6%を占め、1990年より0.1%上がりました。さらに、少数民族の流動人口は10万あります。この53の少数民族の中で、人口が一番多いのは回族（57514人）で、二番目は満族（9087人）で、三番目は蒙古族（6468人）です。その次は、土家族、朝鮮族、苗族、壮族、侗族、維吾尔族、藏族などです。浦東新区は全市で一番少数民族が多い区で、少数民族人口は全市の少数民族総人口の12.5%を占めております。

これまで、上海は多文化共生社会を作ってきたと言え、市政府は少数民族が平等の立場に立って行政に参加し、平等の権利を享有するため、全国人民代表大会及び地方各級人民代表大会に参加する少数民族の代表人数に対して特別な配慮をしています。上海市で選ばれた「市人民代表」の中、少数民族代表はつねに全部代表の1%~2.9%を占めています。

有名な上海市回民高级中学（次の写真）は、上海市の少数民族の青少年を対象に、60年の歴史を辿って、モダンな教育基地となりました。現在、イスラムや満族やチベット族など15個民族の1200あまりの生徒や学生、あわせて20個クラスを持っています。



近年来、「辺境」から新しくやってきた少数民族がよく見られます。その中、一際目を引くのが大陸の西北部、チベット自治区の北方に位置する新疆ウイグル自治区からはるばるやって来たウイグル族（新疆人）と呼ばれる民族です。そのほか、四川省や青海省など貧困な地域から

チベット族や回族も多いです。彼らはそれぞれ自分なりの商売をしていて、主としてチベット族は薬や猛獣の皮を売り、ウイグル族はほし葡萄や羊の焼き肉などを売り、回族は拉面（このような拉面屋は、上海には900軒あり、従業員は4000人に近い）や羊の焼き肉を売ることです。



回族人が羊の焼き肉を作っているところ

このように、少数民族が多く入ってくるにつれて、いろいろな新しい矛盾や問題を生ずるのも事実です。例えば、イスラムへの牛肉の提供や都市の衛生環境や少数民族の犯罪などです。上海市民族委員会の「民族関係に影響する問題についての調査」によると、イスラム食品の提供や少数民族の流動人口問題（管理が難しい）やメディアなどが少数民族の感情を傷つけたりすることは、現在もっとも大きな問題となっています。

1994年12月、上海市第10回人民代表大会は「上海市少数民族權益保障条例」を可決し、1995年3月1日から実行すると規定しました。この条例は少数民族の権利の平等を強調し、少数民族の宗教および風俗習慣を尊敬すべきこと、出版物やテレビや映画などでは少数民族への差別や侮辱などを絶対禁止するというような内容です。

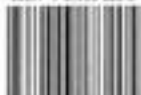
それと同時に、上海のような大都市に少数民族の流動人口が多くなる傾向に対し、統計の面では、「戸籍」より「通常居住地」であるというように、都市における少数民族の統計に基づい



主 編：哈文信  
副主編：方宜偉 彭高成 石錫仁

《上海民族志》編纂委員會編  
上海社會科學院出版社

ISBN 7-81035-338-6



9 787806 163209 >

て、「都市少数民族」の範囲を拡大する意見があり、さらに少数民族の流動人口を対象とする法律援助センターを設定することも考えられています。

上海における少数民族に関しては、これまで8年間の努力を通じ、初めての『上海民族志』が、1997年6月本格的に出版されました。この本には、今日に至るまでの歴史から、上海市における少数民族の状況や重要な出来事、著名な人物のことが詳しく書かれています。

#### 4. 結論

以上、中国、特に上海における多民族・多文化共生の状況を簡単にご紹介致しましたが、ご清聴有難うございました。ちょっと纏めさせていただきますと、

第一、中華人民共和国成立以来、中国では多民族・多文化共生の社会を目指し、主としては「民族自治区」の形で、まだ貧困にある少数民族地域へ支援資金など与えて、少数民族を保護する政策を採ってきました。

第二、1990年代に入り、改革開放による戸籍制度の緩和につれて、「周辺」（辺境や貧困な地域）から「中心」（大都市）へ来る少数民族はますます多くなり、そしてそのほとんどは「流動人口」なので、都市管理に新しい問題をもたらした。

第三、現に「上海市少数民族權益保障条例」のような条例を作って、法律や制度から少数民族の合法權益を守る都市が多くなりましたが、他民族尊重意識を養成し、多元文化の視点から問題を分析するように努力すべきです。すなわち、多文化の実践から多文化意識の理性化へ、過去の「中央」の視点ではなく「周辺」の視点、「漢民族」の視点ではなく「少数民族の視点」から少数民族の現状を分析しようとするものです。

第四、今後、相変わらず多民族・多文化の多様性を保つには、開放的国際多文化主義からいい経験を参考とすることも重要です。

#### 注

- 1) 2000年の中国全国人口統計による。
- 2) 中国新华网2005年12月29日。http://news.xinhuanet.com/politics/2005-12/29/content\_3985369.htm
- 3) 『中国の少数民族』より

#### 参考文献

1. 「上海市少数民族權益保障条例」上海市第10回人民代表大会1994年12月9日。
2. 『中国2000年人口センサス資料』(上), 中国統計出版社2002年。
3. 胡海徳: 「關於我国民族教育的幾個問題」『少数民族教育探索』広西師範大学出版社1991年。
4. 王铁志: 「市場經濟条件下的民族政策問題」『西北民族研究』2000年2月。
5. 邓行: 「少数民族流动人口權益保护初探」『中南民族大学学报: 人文社科版』2002年3月。